

## ■避妊・去勢で病気予防

ワンちゃん、ネコちゃんの高齢化に伴い、男の子だと精巣の病気、女の子だと乳腺・子宮の病気がとて多くなってきています。

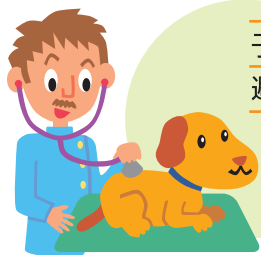
### 避妊手術によって



- 子宮蓄膿症、卵巣癌、子宮癌が防げる
- 初回発情以前に行くと、乳腺腫瘍の発生率が200分の1に下がると言われている
- 発情時の出血によるわずらわしさが無い

### 去勢手術によって

- 精巣腫瘍、肛門周囲腺腫、前立腺肥大の予防
- 成熟する前に行くと、おとなしく飼いやすい子に育てることが可能となる



子供を産ませる予定のない子は、**避妊・去勢手術をおすすめします。**

## ワンちゃん、ネコちゃんの日々のお手入れ



### 歯みがき

歯石がつくと...

- 歯肉炎 ● 歯槽膿漏 ● 歯根膿瘍

...などを引き起こし、若いうちに歯を失ったり感染症を起こす原因となります。

歯石の予防には、まずガーゼなどを指に巻くか、軍手をつけるかし、歯をこすります。慣れてきたら歯ブラシを使っていきましょう。デンタルセットは病院でも販売していますので、ご相談下さい。

歯石が多かった場合は、麻酔をかけて超音波スケーラーで取り除きます。とてもきれいになりますよ。おうちのワンちゃん、ネコちゃんのお口をチェックしてみてくださいね。



肛門囊は、肛門の両側4時と8時の場所にあります。

### おしりをひきずっていませんか？

ワンちゃん、ネコちゃんには、イタチやスカンクのように肛門の両脇に悪臭を放つ一對の分泌線である、肛門囊があります。分泌物は通常、排便時に圧力によって押し出されますが、異常に濃くなっていたりすると、排泄されずに溜まりっぱなしになってしまいます。溜まってきたサインとして、お尻をひきずってこすったりし、ひどくなると破裂してしまいます。サインが見られた時は早めに来院して下さい。

## よりよいパートナーを目指して

# しつけの **コミュニケーション**

### その1 アイコンタクト

一番初めに行ってほしいしつけの第一歩は、アイコンタクトです。ほめてあげる時、しかる時、指示する時、まずは視線を合わせてから行いましょう。慣れるまでは、好きなもので誘導してあげると良いと思います。そして、視線が合ったら笑って声をかけてあげること。これをくり返すことでよりよいコミュニケーションをとり、第一歩としましょう。ただし、ワンちゃんに送る視線は、常に上から送って下さい。そうすることでリーダー性をわからせてあげましょう。



### その2 あまえがみ

じゃれて遊んでいるうちにかまれてしまうことはありませんか？ そんな時は、ブイツと無視をして遊びをやめてしまいましょう。相手にすると、逆にひどくなって習慣になってしまいます。小さなお子様でもできる事ですので、やってみて下さい。子犬でも成犬でも、しつけという愛情をかけて接し、いい関係をつくっていきましょう。



# Animal News

創刊号

2024年10月10日発行  
第1号  
発行所：いしぐろ動物病院  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL: 03-5561-1111  
FAX: 03-5561-1112  
E-MAIL: info@ishiguro-animal.com



- 院長のメッセージ
- 椎間板ヘルニアとは
- 避妊・去勢について
- スタッフ紹介
- しつけ
- 日々のお手入れ

